



アドビ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

Adobe Firefly、AI を活用したオールインワン環境に革新的な音 声・動画・画像 AI 機能と AI モデルを導入

- マルチメディア対応のオールインワン環境を提供する Adobe Firefly でクリエイターは、完全ライセンス取得済みの音楽トラックやクリアなナレーション、包括的でタイムラインベースの動画編集機能の利用が可能に。
- Adobe Firefly のプラン内で、トップクラスの AI モデルの数々を 1 か所で利用可能。フォトリアリスティックな表現とプロンプトベースの編集を実現する新モデル「Firefly Image Model 5」に加え、ElevenLabs、Google、Topaz Labs などが提供する追加のパートナーモデル、さらにはクリエイター独自のスタイルで生成できる新しい「Adobe Firefly カスタムモデル」も利用可能
- Adobe Firefly 内で利用可能な対話型のクリエイティブ AI アシスタント「Project Moonlight」のプレビューを公開。アドビのあらゆるクリエイティブアプリケーションやクリエイターのソーシャルチャンネルと連携が可能で、クリエイターはコンセプトを数分でコンテンツへと仕上げる事が可能。また、パーソナライズされた提案やインサイトを提供

※当資料は、2025 年 10 月 28 日（米国時間）に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳版です。

【2025 年 10 月 28 日】

アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、世界最大級のクリエイティビティカンファレンス [Adobe MAX](#) において、Adobe Firefly に画期的な AI ツール、AI モデル、AI エージェントを新たに導入したことを発表しました。新しい Adobe Firefly は、業界トップクラスの AI モデルと、動画、音声、画像、デザインのための最良のツールを備えたオー

ルインワンプラットフォームです。Adobe Firefly の新機能の1つであるスタジオ品質の音声・動画ツールには、完全ライセンス取得済みのオーディオトラックを作成する「[サウンドトラックを生成](#)（パブリックベータ）」、クリアなナレーションを生成する「[音声を生成](#)（パブリックベータ）」、そして新たなタイムラインベースの AI を搭載した「[動画を編集](#)（プライベートベータ）」が含まれます。ま新しい「Adobe Firefly Image Model 5（パブリックベータ）」などの商用利用可能な Adobe Firefly モデルは、ネイティブ 4MP（2K）解像度でフォトリアリスティックな画像を生成し、自然言語によるプロンプトベースの編集に対応します。さらに、ElevenLabs、Google、Luma AI、OpenAI、Runway、Topaz Labs など、拡充を続ける[パートナーモデル](#)のエコシステムも含まれます。アドビはさらに、クリエイターが独自のスタイルに基づき一連のアセットを生成できる新機能「[Adobe Firefly カスタムモデル](#)（プライベートベータ）」を発表しました。

アドビはまた、Adobe Firefly 内の新機能「Project Moonlight（プライベートベータ）」のプレビューを公開しました。これはエージェント型 AI を搭載した対話型インターフェイスであり、アドビの複数のアプリケーションをまたいだ動作が可能です。例えば、クリエイターの SNS チャンネルを分析して得られたインサイトに基づいて新しいアイデアをブレインストーミングし、数分でコンセプトを作品にまで仕上げるといったことが、達成したい目標や作品のルック&フィールをクリエイター自身の言葉で説明するだけで可能になります。また、AI アシスタントがパーソナライズされたアドバイスや提案を提供し、常にユーザー自身がコントロールを維持しながら利用することが可能です。

アドビの CTO（最高技術責任者）兼シニア バイスプレジデントであるイーライ グリーンフィールド（Ely Greenfield）は、次のように述べています。「Adobe Firefly は、初期段階のアイデアの探索から、AI を活用した動画、音声、画像、デザインの制作、そしてその公開まで、クリエイティブプロセスの全工程を支援します。Adobe Firefly は、最高の AI モデルと最高のクリエイティブツールを1つの場所で活用できる環境として開発されました。クリエイターの皆さんがこの製品を活用し、さまざまなアイデアを具現化していることに感激しています。」

アイデア創出から制作、発信までクリエイターを支援する Adobe Firefly

新たにデザインされた Adobe Firefly はオールインワン環境として、業界トップクラスの AI モデルと、動画、音声、画像、デザインのための最良のツールを備え、アイデア創出から制作、大規模展開までクリエイターを支援します。アドビは、アイデアのブレインストーミングや具現化、画像、音声、動画の生成と編集、そして納品クオリティのアセットの大量制作にいたるまで、クリエイテ

イブプロセスの全工程を効率化する新たな Adobe Firefly ツールを発表しました。さまざまなメディアタイプに対応した数々の生成 AI 機能が創造を加速し、より幅広いものにするとともに、クリエイターは構想段階からシームレスかつ容易に制作作業に入ることができます。

新しい AI アイデア創出ツール

アドビのコラボレーティブな AI アイデア創出プラットフォーム「[Adobe Firefly ボード](#)」では、新たな機能により、より高度なコントロールとクリエイティブの柔軟性が提供され、インスピレーションからのコンセプトづくりがさらにスピードアップします。新機能「**画像を 3D に変換**」では、2D 画像を 3D に変換し、オブジェクトや人物をさまざまなポーズで配置したり、回転させて表示することが可能になります。また、新たに追加された「**PDF 書き出し**」機能と「**一括画像ダウンロード**」機能により、プロジェクト横断でのビジュアルコンセプトの整理やコラボレーションが効率化されます。

Firefly ボードの新機能は、アドビが最近導入した一連の新ツール群を補完するものです。これにはワンクリックで多様なスタイルの画像を生成する「**プリセット**」や、写真やその他のビジュアルアセット内のテキストを瞬時に変更する「**生成 AI テキスト編集**」などが含まれます。

新しい生成 AI クリエイティブツール

Adobe Firefly の新しい AI クリエイティブツールにより、クリエイターは画像、動画、音声の全領域でプロ品質のコンテンツを生成、編集、強化できます。サウンドトラックやナレーション生成から、タイムラインベースのビデオ編集、対話性の高い画像生成プロンプトまで、すべて Adobe Firefly 内で直接行えます。主な機能は以下の通りです。

- **サウンドトラックを生成**（パブリックベータ）：アドビの商用利用可能な Adobe Firefly Audio Model を搭載した AI 音楽生成ツールで、完全ライセンス取得済みのスタジオ品質インストゥルメンタルトラックを作成します。この機能は、クリエイターが指定したビデオ素材と正確に同期・タイミング調整されたオリジナルトラックとその複数のバリエーションを数秒で提供します。
- **音声を生成**（パブリックベータ）：クリアなナレーションを作成するテキスト読み上げツールです。「Firefly Speech Model」と「ElevenLabs」から幅広い音声を選べます。複数の言語でリアルな音声を生成し、感情、ペース、強調を微調整することで自然で表情豊かな発話を実現します。

- **動画を編集（プライベートベータ）**：クリップの生成、整理、トリミング、シーケンス操作を高速かつ直感的に行える web ベースのマルチトラック型タイムラインエディターで、ナレーション、サウンドトラック、タイトルを追加することができます。Adobe Firefly で作成した全コンテンツを表示する「生成履歴」パネルからクリップを追加できるほか、新規クリップをエディター内で生成し、タイムライン上で直接開始フレームと終了フレームを作成することもできます。また、手持ちのメディアをアップロードすることで、キャプチャしたコンテンツと生成コンテンツを1か所で組み合わせることが可能です。さらに、フレーム単位の精密な編集や、組み込みの文字起こし機能によるテキストベースの迅速な編集が可能で、クレイアニメーション、アニメ、2D などのスタイルプリセットに加え、カスタマイズ可能なタイトルテンプレートのライブラリも含まれます。
- **プロンプトで編集**：日常的な言葉で画像への編集内容を説明できるオブジェクト対話型編集インターフェイスです。「テキストから画像生成」のようなツールへの指示と同様の方法で、新規に画像を作成できます。プロンプトによる編集は、Firefly Image Model 5（パブリックベータ）および Black Forest Labs、Google、OpenAI の各パートナーモデルに対応しています。

AI による新しい大規模展開向けツール

本日、アドビは Adobe Firefly アプリ内で直接利用できる「**Adobe Firefly クリエイティブ制作（プライベートベータ）**」のアクセスを拡大します。本機能は、AI を活用したバッチ編集ソリューションで、クリエイティブプロフェッショナルとそのチームは、数千枚の画像を一度に編集することが可能です。背景の自動置換、カラーグレーディングの適用、トリミングといった作業の一括処理を、使いやすいノーコードインターフェイスで実現します。

業界トップクラスの AI モデルが Adobe Firefly で直接利用可能に

Adobe Firefly は、動画、音声、画像、デザインの各分野における最高のクリエイティブツールからトップクラスの AI モデルを直接利用できる唯一のプラットフォームです。すべてが1か所で、同一の料金体系内で提供されます。クリエイターは Adobe Firefly 上でアドビの安全に商用利用可能な Adobe Firefly モデル、業界パートナー各社のモデル、そして近日公開予定の新しいパーソナライズ可能な「Adobe Firefly カスタムモデル（プライベートベータ）」の中から選択し、アイデアを形にすることができます。

新しい Adobe Firefly Image Model 5

Adobe Firefly モデルに、新たに商用利用可能な「**Adobe Firefly Image Model 5**（パブリックベータ）」が追加されました。これは現時点で最も先進的な画像生成・編集モデルです。アップスケーリングなしでネイティブ 4MP（2K）解像度の画像を生成でき、光や質感まで捉えたフォトリアリスティックなディテール表現に優れています。Firefly Image Model 5（パブリックベータ）は、解剖学的に正確でリアルな人物像を生成し、複雑で多層的な構図や自然界の動きの表現において大きな進歩を遂げています。

Firefly Image Model 5（パブリックベータ）は画像生成と画像編集の統合も実現しており、これが Adobe Firefly の新機能「**プロンプトで編集**」ツールに活かされています。これは、クリエイターが自分の言葉で画像編集の意図を記述できる機能です。さらに、新モデルは「**レイヤー画像編集（開発中）**」にも搭載される予定で、コンテキストを認識した精密な合成により、どんな変更を加えてもその前後でコンテンツの完全な一貫性が保たれます。

アドビのパートナー企業による新モデル

アドビは業界各社の新モデルをリリースと同時に Adobe Firefly に導入しています。本日、Adobe Firefly に新たなパートナーモデルが追加されました。音声ナレーション生成に優れた **ElevenLabs Multilingual v2** と、画像アップスケーリング用の **Topaz Bloom** が、導入済みのモデル（Black Forest Labs の Flux 1.1、Google の Veo 3.1、Imagen 4 および Gemini 2.5 Flash Image [Nano Banana]、Ideogram 3.0、Luma AI の Ray3、Moonvalley の Marey、OpenAI の GPT Image、Pika、Runway の Gen-4、Aleph）に加わります。

新しい Adobe Firefly カスタムモデル

アドビはまた、Adobe Firefly アプリ内で直接選択できる「Firefly カスタムモデル（プライベートベータ）」をクリエイターに提供します（現在ベータ版への早期アクセスのウェイティングリスト登録を受付中）。Adobe Firefly エンタープライズ版のユーザー向けに最初に導入されたこのモデルは、クリエイターが独自の AI モデルを簡単にパーソナライズし、独自のスタイルで視覚的な一貫性を持った一連のアセットを生成することを可能にします。クリエイターが権利を持つ画像をドラッグ＆ドロップするだけの簡単な操作で Firefly カスタムモデルをパーソナライズできます。カスタムモデルはデフォルトで非公開となっており、他者が利用するには作成者による承認が必要です。カスタムモデルには Firefly アプリまたは Firefly ボードからアクセスできます。

価格と提供開始時期

Adobe Firefly の**プロンプトで編集**は、本日より Adobe Firefly ユーザー向けに一般提供を開始します。Firefly Image Model 5 や、Black Forest Labs、Google、OpenAI のパートナーモデルで利用可能です。

Firefly Image Model 5、サウンドトラックを生成、音声を生成は本日よりパブリックベータ版としてご利用いただけます。

[Adobe Firefly の動画を編集](#)および [Firefly カスタムモデル](#)は現在プライベートベータ版で、来月から順次提供を開始します。早期アクセス版のウェイトングリストへの登録は本日から可能です。**Adobe Firefly クリエイティブ制作**もプライベートベータ版で、来月からプレミアム生成 AI 機能を利用可能なユーザー向けに順次提供を開始します。

Project Moonlight はプライベートベータ版として提供され、今後数か月以内に正式リリース予定です。[ウェイトングリスト](#)に登録すると、提供開始時に通知を受けることができます。

12 月 1 日まで、Creative Cloud Pro プランおよび Firefly プランの加入者は、すべての Adobe Firefly およびパートナーモデルによる無制限の画像生成に加え、Firefly Video Model による無制限の動画生成をご利用いただけます。Firefly の価格とプランの詳細は[こちら](#)をご覧ください。

アドビの AI への取り組み

アドビは業界で最もクリエイターフレンドリーな AI アプローチを採用しています。そして、AI を人間の創造性を代替するものではなく、人間のためのツールと捉えており、クリエイターの権利の尊重を起点とした、責任ある生成 AI 開発は可能であると確信しています。アドビの生成 AI への取り組みに関する詳細は、以下をご覧ください。

<https://www.adobe.com/ai/overview/firefly/gen-ai-approach.html>

■「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

Forward-Looking Statements

This press release contains “forward-looking statements” within the meaning of applicable securities laws, including those related to Adobe’s new, enhanced or future AI and product capabilities, innovations and offerings and the expected benefits to Adobe. Each of the forward-looking statements we make in this press release involves risks, uncertainties and assumptions based on information available to us as of the date of this press release. Such risks and uncertainties, many of which relate to matters beyond our control, could cause actual results to differ materially from these forward-looking statements. Factors that might cause or contribute to such differences include, but are not limited to: failure to innovate effectively and meet customer needs; issues relating to development and use of AI; failure to compete effectively; damage to our reputation or brands; failure to realize the anticipated benefits of investments or acquisitions; service interruptions or failures in information technology systems by us or third parties; security incidents; failure to effectively develop, manage and maintain critical third-party business relationships; risks associated with being a multinational corporation and adverse macroeconomic conditions; complex sales cycles; failure to recruit and retain key personnel; litigation, regulatory inquiries and intellectual property infringement claims; changes in, and compliance with, global laws and regulations, including those related to information security and privacy; failure to protect our intellectual property; changes in tax regulations; complex government procurement processes; risks related to fluctuations in or the timing of revenue recognition from our subscription offerings; fluctuations in foreign currency exchange rates; impairment charges; our existing and future debt obligations; catastrophic events; and fluctuations in our stock price. Further information on these and other factors are discussed in the section titled “Risk Factors” in Adobe’s most recently filed Annual Report on Form 10-K and Adobe’s most recently filed Quarterly Reports on Form 10-Q. The risks described in this press release and in Adobe’s filings with the U.S. Securities and Exchange Commission should be carefully reviewed. Adobe undertakes no obligation, and does not intend, to update the forward-looking statements, except as required by law.

© 2025 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.